

男女賃金格差について考えるシンポジウム

パネルディスカッション資料
(中同協)

2025年7月28日(月) 18：00～20：00、オンライン

中小企業家同友会全国協議会

- ・ 全国47都道府県に拠点、会員数 47,444名（うち女性13.6%）
理事の女性比率は12.6%（2024年度実績）。
- ・ 「よい会社・よい経営者・よい経営環境」をめざして活動。
- ・ 女性部連絡会：女性経営者の学びと交流の場、全国38同友会



(株)吉村

- ・ 昭和7年に創業、資本金9,100万円、社員228名（ほかに正雄舎に46名）
- ・ 本社は東京都品川区、静岡焼津に工場・物流センターのほか、全国に4営業所
- ・ 業種は茶・海苔を主とする食品包装資材の企画、製造、販売
- ・ 売上高55.8億円、経常利益1.9億円、還元金22.7万円
- ・ 障害者雇用率3.98%、離職率6.03%、出戻率4.18%



男女間賃金格差に関するアンケート結果①

期間：2024年5月～6月

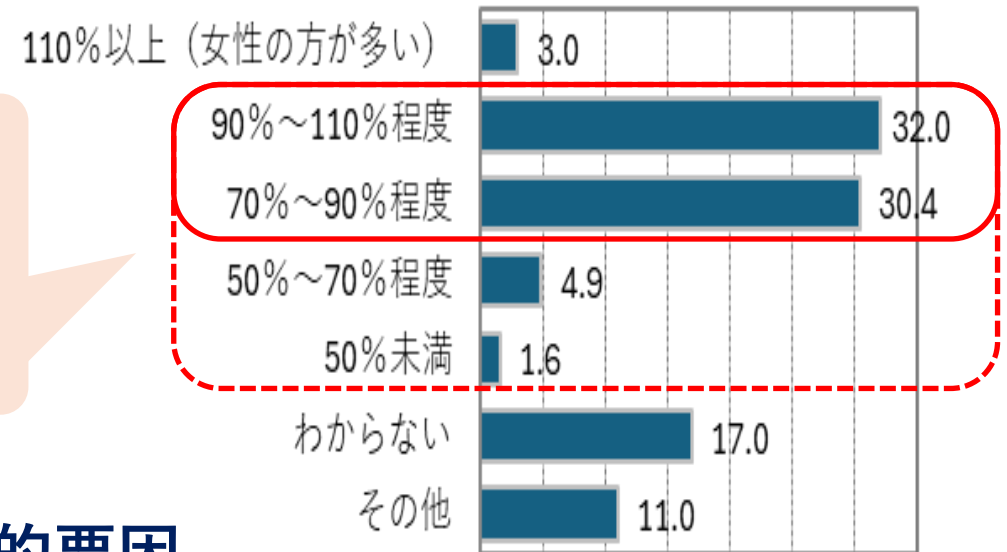
対象：中小企業家同友会全国協議会 役員、回答数：635件

平均社員数：36人、臨時・パート・アルバイト数：15人

意識：約7割が男女間賃金格差を「問題」と認識

実態：女性社員の賃金 男性の「90～110%」 32%
「70～90%」 30%
「男性＞女性」 67%
「差がわからない」 17%

女性正社員の賃金の割合（男性正社員平均賃金＝100）



「職種」「業務難易度」「管理職比率」構造的要因
～性差や能力差よりも役割分担や制度設計の影響！？

男女間賃金格差に関するアンケート結果②

自由記述から見たこと

- ・ 格差の背景：「女性の選択」や「社会的な認識」、「企業文化」と認識
- ・ 性別特性や家庭責任など、伝統的価値観が職種配分を固定化している？

「これまで日本人が持ってきた男女の生き方や人生観の違いが格差として表れている」

「男性の方が出世について前向きで、女性は育児などに軸足を置いて業務時間が短くなる傾向」

「賃金設定時に男性は家庭があるからといった理由で高い傾向（女性にも家庭があるのに…）」

「営業職に男性が多かったため、一定の年齢を超えると職種による男女差が大きくなる」

「女性はライフステージ（出産・育児・介護等）の変化の影響によって継続して働くことが難しい」

「男女間賃金格差」についての問題意識はあるし、対応も「して」いて、「できている」と受け止めている企業は増えてきた。

ただし、格差の主因を社会的背景や個人の問題に留めており、自社で取り組む課題として落とし込むまでには至っていない。

格差解消に向けた取り組み

ジェンダーギャップ解消へ

心理的安全性

言語化

経営で
社会を変える

研究グループ
発足

情報共有
意見交換

アンケート

主体性

誰もが主体的に関われる
企業・社会へ